

II. 事業評価個表 (令和4年度)

番号	措置名	交付金事業の名称			
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉施設維持運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町			
交付金事業実施場所	(小学校) 鏡野町古川、円宗寺、下森原、香々美、真経、富西谷 (中学校) 鏡野町竹田				
交付金事業の概要	小学校臨時職員21名(講師12名・校務員7名・学校図書支援員1名・事務職員1名) 中学校臨時職員7名(講師5名・校務員1名、学校図書支援員1名) の人件費12ヶ月分。 電源立地地域対策交付金を活用し、教育環境の整備・充実に努めます。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【主要政策・施策】 鏡野町第2次総合計画(後期基本計画) 令和3年度～令和7年度(5年間) 政策: 3 創造豊かな教育・文化の里づくり 施策: 3-1 学校教育の充実 ・学習意欲を引き出す授業改善で確かな学力の向上に努めます。 ・教育環境の整備・充実した体制づくりに取り組みます。 【目標】 (令和7年度) 学校生活が充実していると答えた児童の割合 : 90.0% 学校生活が充実していると答えた生徒の割合 : 85.0%				
事業開始年度	令和4年度		事業終了(予定)年度		令和4年度
事業期間の設定理由	鏡野町第2次総合計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和5年度
	教育水準の維持	配置実績÷配置予定	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等 本事業を電源立地地域対策交付金を活用し実施することで、講師等の人員の充足が図られ、鏡野町児童・生徒の確かな学力の向上、教育環境の充実を図り、調和のとれた人材の育成、確かな学力と豊かな人間性の向上に寄与することができました。				
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標	単位	令和4年度	年度	年度
(雇用人数(人)×雇用期間(月))	雇用 量	人	336		
	活動見込	人	348		
	達成度	%	96.6%		
交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備考	
総事業費	60,442,998				
交付金充当額	60,325,432				
うち文部科学省分	60,325,432				
うち経済産業省分	0				
交付金事業の契約の概要	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額
	小学校・会計年度任用職員人件費	雇用	会計年度任用職員 22名		44,083,098
	中学校・会計年度任用職員人件費	雇用	会計年度任用職員 7名		16,359,000
交付金事業の担当課室	鏡野町学校教育課				
交付金事業の評価課室	鏡野町学校教育課				